

Cáo Chōng chēng xiàng

曹 冲 称 象

Gǔ shíhòu yǒu ge dà guān , jiào Cáo Cāo . Yí cì yǒu rén sònggěi tā
古 时 候 有 个 大 官 ， 叫 曹 操 。 一 次 有 人 送 给 他
yì tóu dà xiàng . Tā hěn gāoxìng , dài zhe érzi hé guānyuánmen yìtóng qù
一 头 大 象 。 他 很 高 兴 ， 带 着 儿 子 和 官 员 们 一 同 去
kàn .
看 。

Zhè tóu xiàng yòu gāo yòu dà , shēnzi xiàng yì dǔ qiáng , tuǐ xiàng sì
这 头 象 又 高 又 大 ， 身 子 像 一 堵 墙 ， 腿 像 四
gēn zhùzi . Guānyuánmen yìbiān kàn yìbiān yìlùn : “ Zhème dà de xiàng ,
根 柱 子 。 官 员 们 一 边 看 一 边 议 论 : “ 这 么 大 的 象 ，
dàodǐ yǒu duōzhòng ne ? ”
到 底 有 多 重 呢 ？ ”

Cáo Cāo wèn : “ Shéi yǒu bànfǎ bǎ zhè tóu dà xiàng chēng yì chēng ? ”
曹 操 问 : “ 谁 有 办 法 把 这 头 大 象 称 一 称 ？ ”

Yǒu de shuō : “ Děi zào yì gǎn dà chèng , kǎn yì kē dà shù zuò chènggǎn
有 的 说 : “ 得 造 一 杆 大 秤 ， 砍 一 棵 大 树 做 秤 杆
。” Yǒu de shuō : “ Yǒule dà chèng yě bù chéng a , shéi yǒu nàme dà
。” 有 的 说 : “ 有 了 大 秤 也 不 成 啊 ， 谁 有 那 么 大
de lìqì tídeqǐ zhè gǎn chèng ne ? ” Yě yǒu de shuō : “ Bànfǎ dào yǒu yí
的 力 气 提 得 起 这 杆 秤 呢 ？ ” 也 有 的 说 : “ 办 法 倒 有 一
ge , jiù shì bǎ dà xiàng gēchéng yí kuài yí kuài de zài chēng . ” Cáo Cāo
个 ， 就 是 把 大 象 割 成 一 块 一 块 的 再 称 。” 曹 操
tīng le zhí yáo tóu .
听 了 直 摇 头 。

Cáo Cāo de érzi Cáo Chōng cái qī suì . Tā zhànchulai , shuō : “ Wǒ yǒu
曹 操 的 儿 子 曹 冲 才 七 岁 。 他 站 出 来 ， 说 : “ 我 有
ge bànfǎ . Xiān bǎ dà xiàng gǎndào yì sōu dà chuán shang , kàn chuánshēn
个 办 法 。 先 把 大 象 赶 到 一 艘 大 船 上 ， 看 船 身
xiàchén duōshǎo , jiù yánzhe shuǐmiàn zài chuánxián shang huà yì tiáo xiàn
下 沉 多 少 ， 就 沿 着 水 面 在 船 舷 上 画 一 条 线
。 Zài bǎ dà xiàng gǎnshàng àn , wǎng chuán shang zhuāng shítou , zhuāng
。 再 把 大 象 赶 上 岸 ， 往 船 上 装 石 头 ， 装
dào chuán xiàchéndào huàxiàn de dìfang wéi zhǐ . Ránhòu , chēng yì chēng
到 船 下 沉 到 画 线 的 地 方 为 止 。 然 后 ， 称 一 称
chuán shang de shítou . Shítou yǒu duōzhòng , dà xiàng jiù yǒu duōzhòng .
船 上 的 石 头 。 石 头 有 多 重 ， 大 象 就 有 多 重 。

”
”

出典 《义务教育课程标准实验教科书(S版) 语文 二年级 下册》，21 页，语文出版社

日本語訳

むかし、曹操という高官がおりました。ある時、象が彼に献上されたので、彼は喜び、息子と役人たちを連れて一緒に見に行きました。

その象は大きく、体はまるで壁のようであり、足はまるで4本の柱のようでありました。役人たちはその象を見ながら、「こんなに大きな象だと一体どれだけの重さがあるのだろう。」と話していました。

曹操は「だれかこの象の重さを計る方法があるものはいるか。」と尋ねました。それに対して、ある者は「大きなはかりを作らないといけません。大木ではかりを作りましょう。」と、またある者は「大きなはかりを作ってもダメだ。そのはかりを持ち上げられる力があるものなんていやしない。」と、またある者は「方法は1つだけだ。その象を1かたまりずつ切っていくからかろう。」とそれぞれ答えましたが、曹操はそれらを聞いてずっと首を横に振っていました。

曹操の息子である曹沖はその時まだ7歳でありましたが、立ち上がり出てきて、「ぼくにいい方法があるよ。まずその象を大きな船に乗せるためにそこまで連れていき、船がどれくらい沈むかを見て、水面に沿って船べりに線を1本引くんだ。それから象を岸に上げて、船べりに引いた線まで沈むように船に石を積むんだ。そのあとに船に積んだ石の重さをはかれば、それが象の重さになるわけさ。」と言いました。